

第34回全国小学生陸上競技交流大会千葉県選考会

競技注意事項

1. 規則 2018年度公財)日本陸上競技連盟規則に準ずるが、学童である年齢段階を考慮した教育配慮のもとに競技を行う。
- ①スパイクシューズは使用してもよい。但し必ずオールウェザー用のピンを使用する事
 - ②男女5・6年生 100m についての決勝は、予選タイム上位16名が A (上位8人) B (9～16位決定戦) 決勝2組で行う。但し、Bが決勝でAの決勝タイムを上回っても決勝総合順位は9位以降となる。
 - ③100m・80mH・4×100mRのスタートはクラウチングスタートを原則とする。
4年生についてはスターティングブロックは使用しなくても構わない。
 - ④リレー競技におけるテークオーバーゾーン30mとする。(ただしテークオーバーゾーン内の受け渡しを行うこと)
 - ⑤決勝種目への進出者が同記録(1/1000の有意差は見る)で9名以上いる場合は抽選により決定する。
 - ⑥男女共通 1000m及び男女4年100mは予選タイムレース決勝とし、男女共通80mHは、予選タイムレースとし、上位8名が決勝に進出する。
 - ⑦走り幅とびは、3回の試技で順位を決定する。
 - ⑧ジャベリックボール投げは、一人1投ずつ合計3回の試技で順位を決定する。
 - ⑨走高跳は、同記録の場合は1位2位3位の順位決定を行う。
 - ⑩スタートのコールはイングリッシュコールとする。(4年生種目は日本語)また同一競技者が2回のフライングをした時には失格となりますがレースは参加できる。但し該当選手の順位は付かず、記録はオープン扱いとなる。
2. 練習 練習は、第2陸上競技場で行う。
3. 競技場 本競技場は、全天候型である。
4. 招集 招集場所は、雨天練習場内に設ける。(雨天走路は選手待機所の為、アップは禁止する)
- ①招集におくれたものは棄権とみなし、出場を許さない。
 - ②招集開始および完了時刻は下記のとおりである。(タイムテーブルを参照のこと)
- 開始時刻 30分前**
- 完了時刻 15分前**
- ③招集はIDカードを持つ責任者が付き添いのうえ本人が招集所において点呼を受ける。
 - ④選手への付き添いは招集終了後は速やかに招集所及び選手以外立入禁止エリアより退出しなければならない。
5. 入退場 役員の指示に従い入場し、競技終了後も指示に従って規律ある行動をとる。

6. ナンバーカード

- ①ナンバーカードは、8時00分～指定時間内に正門玄関内コンコースで受け取る。
- ②ナンバーカードは、2枚をユニホームの胸と背に結着し100m・1000m・80mH・リレーのアンカーは、1枚を右腰に結着する。

7. リレー競技について

リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、受付時に提出のこと。決勝のリレーオーダーは招集完了時間の60分前までに招集所に時間厳守で提出してください。補欠に回った選手は友好100mのレースに出場となります。また決勝に進出したチームのオーダーは予選と同様とする（走順は変更しても良い）但し該当選手が怪我もしくは決勝出場不可能な体調不良を審判長が認めた場合のみ変更を許可する場合がある。

8. レーン

- ①100m・80mH・4×100mRは、セパレートレーンで行う。
- ②セパレートレーンで行う競技で全レーンを使用しない場合は、常に第1レーンをあけて第2レーンより使用する。

9. 用器具

用器具は競技場備えつけのものを使用する。

10. 抗議

競技規則第146条に準ずる。（本大会は登録団体の代表者のみが行える事とする。）

11. 表彰

- ①各種目3位までに入賞したのものには、賞状とメダルを授与する。
- ②各種目8位まで（男女5・6年生100mと男女1000mは16位まで）に入賞した者には賞状を授与する。

12. 表彰式

各種目の8位までに入賞した選手は表彰が整いしだいアナウンスで通告するので正面入口内コンコースに集まること、なお、9～16位（男女5・6年100m、共通1000m）に入賞した選手の賞状は正面入口右手机上に置いておきますので各自取りに来ること。

13. 選手受付

陸上競技場正面玄関内コンコースで行うので引率者は所定の物品を受領すること。

14. その他

- ①貴重品は勿論、タオル、帽子、シューズ等を忘れて、間違えないように注意し、盗難防止に十分留意すること。
- ②競技中に発生した事故などについては応急措置を主催者で行うが以後の処置は各チームで対応すること。
- ③各種目（4年100m、共通1000m以外）の優勝者は、第34回全国小学生陸上競技交流大会千葉県代表の資格を得るので表彰式終了後に選手・指導者・保護者は、必ず説明会に参加すること。優勝者が権利を放棄した場合は次位選手が権利者となる。
- ④室内では、スパイクシューズを絶対にはかないこと。
- ⑤ゴミについては各自で責任を持って持ち帰ることを原則とするが、分別処理をして所定の場所に捨てること。